



「もちほもち屋」で外部講師の力を借りる

9月25日（水）は、外部の講師の方がたくさん来られた1日でした。

3校時には、5年生を対象とした「ネットモラル」の授業を行いました。また、1年生を対象とした「牛乳教室」を行いました。5、6校時には、3年生を対象にした「獅子舞に関する学習」を行いました。

「ネットモラル」について

は、大学生が講師として指導をしてくださいました。現在の大学生は、情報機器の活用に長けていますし、ネットに関する長所も短所も十分理解をしている世代です。私たちよりもずっと

子どもに近い存在が、インターネットの誤った使い方や危険性を伝えることで、子どもたちへの伝わりやすさが違ってきます。5年生が、ネットモラルについて大学生から教わったことは心に響いたと思います。

「牛乳教室」は、給食の牛乳を扱っている四国乳業（らくれん）さんによるものです。牛の模型を使って乳しぼりの体験をしたり、牛に与える飼料の重さを感じたりすることができました。牛乳は、飲むものとしてだけでなく、チーズやバター、ヨーグルトなどにも加工されます。子どもたちが好きなお菓子の中にもよく使われています。牛乳の栄養分や用途などを理解することで、普段目にしている牛乳のことを、より知ることができたのではないかと思います。

「獅子舞に関する学習」は、総合的な学習の時間「受け継ごうふるさと潮見」の一環として、吉藤伝統文化保存会の皆様を招いて行いました。「獅子舞」に教科書はありません。これまで長く踊ってきたものを、ずっと受け継いで今の形があります。3年生の子どもたちは、獅子舞の演舞を、最初はパフォーマンスとして見ていました。もちろんその要素はあるのですが、少しずつ「伝統芸能」という意味合いを感じながら見るできるようになりました。獅子舞自体は日本にたくさんありますが、その舞は、地域によって違うということも、理解できたのではないかと思います。

私たち教員は、教えるプロではありますが、全ての事柄についての専門家ではありません。やはり、その道に精通している方々の力を借りながら、子どもたちを育てていくことが大事だと考えています。何のために、何を、どのように学習するのかを、これからも考えていきたいと思っています。

